

対象地域：岡山県

再生課題：草原・湿原等の保全・再生

蒜山自然再生協議会

再生目標

先人から引き継がれてきた蒜山地域の自然資源利用の仕組みを現代に合わせて作り出し、蒜山地域固有の自然、文化、景観を次世代に引き継ぐ。



- 事務局
真庭市
 - 対象地域
真庭市蒜山地域（旧川上村、八束村）
 - 協議会：R4.1.20 設立
 - 全体構想：R4.1.20 策定
 - 実施計画：検討中
- (R4.1現在)



蒜山地域の多様な動植物を育む自然環境やそれらを繋ぐ広大な景観は、自然と結びついた人々の暮らしの中で作り出されていました。

蒜山自然再生協議会では、蒜山地域の広大な景観と貴重な生態系を維持してきた自然資源利用の仕組みは、昭和30年代頃までの自然と結びついた人々の暮らしにあると考えています。

蒜山地域でまだ続けられている集落ごとの山焼きなどから、改めて先人の知恵と技術を受け継ぎ、今の時代に合わせた形で自然の恵みを感じられる場や、自然資源を利用した生業を創り出すことで、人が関わることで維持されてきた自然環境の保全・再生・維持管理を目指します。

自然再生の手法

- 技術継承と現代に合わせた仕組みづくり
- 集落・地区により異なる生態系に合わせた保全・維持管理
- 「地域循環共生圏」の考え方に基づく経済的基盤の確立
- 科学的知見に基づく保全・観光利用



山焼き（火入れ）の様子



サクラソウ



フサヒゲルリカミキリ